

2025年度前期 大学院授業評価アンケート実施状況報告

【共通科目必修】

2025年10月30日

授業科目の名称	科目責任者	開講時期	履修者数	アンケート回答者数
看護研究方法特論 I	江守陽子	1前	3名	3名
看護学教育特論	永井睦子		3名	3名

【共通科目選択】

授業科目の名称	科目責任者	開講時期	履修者数	アンケート回答者数
統計学特論	牛渡亮	1前	3名	3名
質的研究方法特論	牛渡亮		4名	4名

【専門科目】

授業科目の名称	科目責任者	開講時期	履修者数	アンケート回答者数
看護管理学領域	看護管理学特論 I	1前	3名	3名
	看護管理学特論 II		3名	2名
	看護管理学特論 III		3名	3名

回答期日	回答率	履修者数合計	回答数合計
10月10日まで	95.5%	22名	21名

令和7年度前期 学生を対象とした授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：看護研究方法特論Ⅰ	授業コード：M11002
担当教員氏名	江守陽子、橋本美幸、吹田夕起子

科学的な看護研究のプロセスを理解するうえで必要な研究用語、研究デザイン、研究方法、研究手続き等について解説しました。

研究のプロセスに沿って自分の研究課題を捉えなおし、研究背景、研究疑問、文献収集の方法、集めた文献の批判的検討、研究デザイン等を理解しながら、ご自分の研究計画の立案に役立てられたのであれば幸甚です。

授業科目名：統計学特論	授業コード：M11005
担当教員氏名	牛渡亮

今回のアンケートでは、ほぼすべての項目が「3点・4点・5点」で平均「4点」であり、自由回答もありませんでしたので、最終授業でいただいた「受講した感想」もふまえて、回答いたします。

今年度は、受講生の皆さんの理解度をふまえて、授業内容をその都度調整しながら実施しました。そのため、時にシラバスの記述をはみ出した高度な内容もあり、戸惑いを感じられた方もいたようです。しかし最終課題において、SPSSを用いて適切に重回帰分析を行う皆さんの姿は、授業実施者として大変頼もしいものでした。

一方、アンケートにおいて評価が振るわなかつた項目を見ると、「授業前後の学修」や「授業への参加態度」など、能動的な姿勢に関わるものが多いようです。SPSSを用いて統計分析をするという授業特性ゆえ、SPSSを用いた復習や授業内でのディベートを実施しづらいことは事実ですが、次年度は自律的な学修を促す工夫を行います。

最後になりますが、円滑な授業運営にご協力いただき、ありがとうございました。

授業科目名：質的研究方法特論	授業コード：M11006
担当教員氏名	牛渡亮

今年度は、受講生の力量をふまえて、当初予定していたよりも高度な内容を追加し、より深い知的探求を行いました。そのため、シラバスとの対応に戸惑われた方もいらっしゃったかもしれません、「授業の知的刺激」や「研究活動への応用可能性」の項目が高評価だったことに鑑みると、内容追加がより良い学習経験に結びついていたのではないかと思います。

今回のアンケートでは、ほぼすべての項目が「3点・4点・5点・5点」で平均「4.25点」であり、自由回答もありませんでしたので、最終授業でいただいた「受講した感想」もふまえて、回答いたします。感想の中では、「資料として配布された文献が難しく苦労したが、調査法の背景をなす認識論的立場を学ぶことができた」というコメントがありました。この授業では、単に質的調査法を学ぶだけではなく、その土台となる存在論や認識論にまで遡り、参加者一人一人の「世界の捉え方」を内省することから始めました。コメントの通り、哲学的な議論をたどっていくのは困難な営みですが、質的研究において他者の語りに含まれている「意味」を理解する際、自分の認識論的立場を自覚していることには大きな価値があります。大学院生のうちに、ぜひたくさん哲学書を読み、調査法についての理解を深めていただきたいと思います。

授業科目名：看護学教育特論	授業コード：M11011
担当教員氏名	永井睦子、濱中喜代、土田幸子、江守陽子、石井真紀子
<p>今年度、看護学教育特論は5名の教員で担当致しました。</p> <p>教育の基本的考え方、日本の看護教育制度、看護基礎教育、看護卒後教育、看護継続教育、教育方法、教育評価、成人学習と、授業の内容も多く把握していくのは大変だったかと思いますが、熱心に取り組んでいただいたと感じています。その中で印象に残ったのは、皆さん自身が今、学んでいることそのものの「成人学習」であったことを伺いました。</p> <p>生涯学習者として、様々な場で看護教育に携わる人として「学ぶこと」「教えること」について考えていかれることを願っています。</p>	

授業科目名：看護管理特論Ⅰ	授業コード：M41001
担当教員氏名	土田幸子、高橋明美
<p>看護管理学の歴史的発展から看護を効果的・効率的に提供するために看護管理者としてめざす看護サービスの実現に向け、ディスカッションを通して方策を探求した。</p> <p>全体的に肯定的な評価であったが、授業準備の精度をあげ、より学修への満足度をあげられるよう各回のテーマについて内容を精選し充実を図っていきたい。</p>	

授業科目名：看護管理特論Ⅱ	授業コード：M41003
担当教員氏名	土田幸子、高橋明美
<p>質の高い看護サービスを提供するための看護専門職者の人的資源管理と、看護組織における人的資源の有効な活用について各自の課題をもとに展開した。その結果、学修への意欲の向上や個々の研究課題へつなげられたと思っている。</p> <p>今後は、教材研究をすすめ、より学修への満足度をあげられるよう各回のテーマについて内容を精選し充実を図っていきたい。</p>	

授業科目名：看護管理特論Ⅲ	授業コード：M41002
担当教員氏名	土田幸子、高橋明美
<p>各自の所属する自施設が地域社会から求められているヘルスケアサービスについて、改めて理解し、看護管理学特論Ⅱの各自の課題と関連付けた学修ができた。また、ゲストスピーカーによる講義から経営的視点で組織運営への参画についても学修することができた。</p> <p>今後もより実践的な講和などから看護管理者として経営へ参画することの意味について、考える機会としていきたい。</p>	

2025年度授業評価アンケート内容

【科目名：大学で入力】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願ひいたします。

なお、このアンケートは成績評価等に影響することは一切ありません。

※教員が複数で担当している場合は概ねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

質問内容		全くそう思わない	強くそう思う
1. 授業内容について			
1	シラバスの概要、目標、内容、方法、評価基準は適切でしたか。		
2	指定された参考図書や教科書は適切でしたか。		
3	配布されたレジュメや資料は適切でしたか。		
4	授業の回数は適切でしたか。		
5	1回の授業での進度は適切でしたか。		
6	開講時期や曜日、時間は適切でしたか。		
7	講義方法は適切でしたか。		
8	授業は理解しやすい内容でしたか。		
9	教員の指導やコメントは適切でしたか。		
2. あなた自身について			1 - 2 - 3 - 4 - 5
10	プレゼンテーションや担当課題の事前準備は適切でしたか。		
11	演習や課題等に関する事前・事後学修は主体的に取り組みましたか。		
12	授業（質問や発言等）には積極的に参加できましたか。		
13	授業から知的刺激を受け、関連する学修を深めたいと思いましたか。		
14	授業の成果を研究活動に活用できると思いますか。		
3. 自由記述			
15	この授業科目を履修して良かったと思う点や改善してほしい点、感想、意見、要望等を自由に記載してください。		

※授業評価アンケートはGoogle フォームにて回答を求めた。

大学院授業改善報告書

授業科目名 :		授業コード :
担当教員氏名		
開講年度・時期	令和 7 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 前期 • <input type="checkbox"/> 後期 • <input type="checkbox"/> 通年	
1. 授業評価アンケートの結果を踏まえた改善策、または感想等 <u>(この部分はHPで公開します)</u>		
2. 受講している院生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等 <u>(この部分は大学院FD委員会で共有します)</u>		